

目標達成計画

作成日：平成28年12月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	利用者のADL(日常動作)の急激な低下や食欲不振、体力低下にも速やかな対応と処置を行える体制が必要。	ホーム内の努力のみに終わらず、常に外部や他施設との連携を取れる関係を築き早期解決の糸口を見つけるよう努める。	家族さんへの細かな連絡を取り、訪問リハビリや医師、看護師との連携を積極的に活用する。又、グループホーム連絡会での意見交換も継続していく。	6ヶ月
2	34	急な体調変化、看取りに対して、職員の心構えと対応の意識向上を進める。	急な体調の変化にも慌てず、利用者の状況確認と的確な処置を行えるようにする。	日頃からの情報伝達と心肺蘇生の知識、家族さんを含めた体調急変時の意識向上と勉強会を開催していきたい。	12ヶ月
3	36 (14)	近隣住民への認知症高齢者への理解と地域社会への振興を深めたい。	認知症になっても人としての価値は変わらず、普通に皆と生活を送り、自分らしく過ごせる社会に尽力する。	地域活動やイベントへの参加、運営推進会議を継続し、利用者さんには積極的に外出し、普通に外食を楽しめる支援をしていきたい。	24ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。